

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

この度は、弊社製品をお買上げ頂き有難うございます。バッテリーを正しくお取り扱い頂くために、バッテリーをご使用になる前や、点検の前に、本取扱説明書やバッテリー本体の注意表示をよくお読み下さい。本取扱説明書はお読み頂いたあと大切に保管して下さい。万が一お気付きの点がございましたら、お買上げ頂いた販売店にご相談下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品破損・ケガの原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術、知識のない方は、作業を行わない下さい。（技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 当製品の取り付けは運転に支障がないように、配線の取り回しなどに気を付け、確実に行って下さい。取り付けたあと液漏れや配線を定期的に点検して下さい。
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
- 使用済みバッテリーは一般ごみと一緒に捨てないで下さい。（引火爆発や火災の原因となります。）リサイクル可能な為、バッテリーご購入の販売店又はリサイクル業者等に引取りを依頼して下さい。

禁止 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- 金属工具などで+端子と-端子を接触（ショート）させない。（スパークにより引火爆発や火災の原因となります。）
- ベンジン、ガソリン、シンナー、などの有機溶剤洗剤などを使用してバッテリーを清掃しないで下さい。
- 密閉された場所で使用はしないで下さい。バッテリーから水素ガスが発生するので引火爆発の原因となります。
- 排気口をふさがしないで下さい。排気口をふさぐとバッテリー内部で発生するガスにより、電槽の変形や破裂の原因となります。
- 当製品に耐震構造はありません。オートバイに本体を固定する際は防振シートを使用するなど、必ず防振対策をして下さい。振動が強い場合、バッテリーの壁が壊れて正常な電圧が出なくなる恐れがあります。

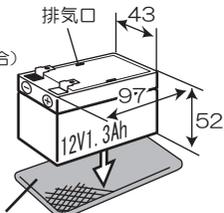
<p>■ 子どもの禁止 子どもを取り扱い方法、危険を十分理解していない者に触れさせない。</p> <p>子どもの禁止 </p>	<p>■ 火気を近づけない バッテリーから水素ガスが発生するので引火爆発の原因となります。</p> <p>火気禁止 </p>	<p>■ 取り扱い時は保護めがねゴム手袋を着用 電解液により失明ややけどの原因となります</p> <p>メガネ着用 </p>	<p>■ 爆発注意 正しい使用方法、取り扱いメンテナンスなど取扱説明書をよくお読みになってからご使用下さい。</p> 	<p>■ 硫酸注意 内部電解液（硫酸）は大変危険な為、密封栓を外したりしないで下さい。</p> 
---	--	--	---	---

○ バッテリーの取り外し、取り付け

- ・ バッテリーを取り外すときは必ずアース側（一端子）から外し、（+端子）を外して下さい。
- ・ バッテリーの取り付けは、最初に（+端子）を取り付け、次に（-端子）を取り付けて下さい。
- ・ 絶対に逆接続しないよう、注意して取り付けして下さい。（取り付け後は端子接続部に保護テープをして下さい）

○ バッテリー使用上の注意

- ・ バッテリーは使用中に、その容量が徐々に低下し、寿命となります。補充充電しても性能が回復しないものは寿命です。
- 寿命は、次の要因によって短縮されます。
 - ・ 高温（エンジンからの熱などの環境温度）
 - ・ 使用頻度（使用が少なすぎても、多すぎても影響を受ける）
 - ・ 充電不足（発電機の故障などによる供給不足、使用頻度が少なく充電不足など）
 - ・ 苛酷な使用（寒冷地での多用、充電不足での使用など）
 - ・ 保守の不備（端子部分の緩みによる接触不良、ランプ類の消し忘れなどによって、バッテリーあがりした場合）
 - ・ 過剰な充電（レギュレータの故障、完了時点を過ぎてても充電を終了しないなどで充電し過ぎた場合）



※防振シートは付属していません。

※ バッテリーは縦置きで使用して下さい。
排気口が上面になる様に使用しなければ液漏れ等の原因になったり、バッテリー本来の能力を100%発揮する事が出来なく、短寿命になる場合があります。

※ バッテリーは放電したまま放置しますと、充電が出来なくなります。
放電し電圧が低下したままのバッテリー（充電出来ない状態のバッテリー）を車両側で充電すると、キーON電源で動作させている対象物が過電圧で壊れます。電圧が11V以下の場合は、補充充電が必要です。必ず12.4V前後ある状態でバッテリーを使用して下さい。

※ 通常のバッテリー充電器は使用出来ません ○ 弊社取扱い推奨充電器

容量が小さいバッテリーなので通常の液補充型バッテリー充電器を使用すると過電圧でバッテリーが破裂、液漏れ、故障します。必ず小型シールタイプバッテリー専用充電器を使用して下さい。

型番	商品番号
CTEKバッテリーチャージャー X S0.8JP	08-02-0032

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

この度は、弊社製品をお買上げ頂き有難うございます。バッテリーを正しくお取り扱い頂くために、バッテリーをご使用になる前や、点検の前に、本取扱説明書やバッテリー本体の注意表示をよくお読み下さい。本取扱説明書はお読み頂いたあと大切に保管して下さい。万が一お気付きの点がございましたら、お買上げ頂いた販売店にご相談下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品破損・ケガの原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術、知識のない方は、作業を行わない下さい。（技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 当製品の取り付けは運転に支障がないように、配線の取り回しなどに気を付け、確実に行って下さい。取り付けたあと液漏れや配線を定期的に点検して下さい。
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
- 使用済みバッテリーは一般ごみと一緒に捨てないで下さい。（引火爆発や火災の原因となります。）リサイクル可能な為、バッテリーご購入の販売店又はリサイクル業者等に引取りを依頼して下さい。

禁止 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- 金属工具などで+端子と-端子を接触（ショート）させない。（スパークにより引火爆発や火災の原因となります。）
- ベンジン、ガソリン、シンナー、などの有機溶剤洗剤などを使用してバッテリーを清掃しないで下さい。
- 密閉された場所で使用はしないで下さい。バッテリーから水素ガスが発生するので引火爆発の原因となります。
- 排気口をふさがしないで下さい。排気口をふさぐとバッテリー内部で発生するガスにより、電槽の変形や破裂の原因となります。
- 当製品に耐震構造はありません。オートバイに本体を固定する際は防振シートを使用するなど、必ず防振対策をして下さい。振動が強い場合、バッテリーの壁が壊れて正常な電圧が出なくなる恐れがあります。

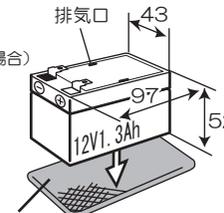
<p>■ 子どもの禁止 子どもを取り扱い方法、危険を十分理解していない者に触れさせない。</p> <p>子どもの禁止 </p>	<p>■ 火気を近づけない バッテリーから水素ガスが発生するので引火爆発の原因となります。</p> <p>火気禁止 </p>	<p>■ 取り扱い時は保護めがねゴム手袋を着用 電解液により失明ややけどの原因となります</p> <p>メガネ着用 </p>	<p>■ 爆発注意 正しい使用方法、取り扱いメンテナンスなど取扱説明書をよくお読みになってからご使用下さい。</p> 	<p>■ 硫酸注意 内部電解液（硫酸）は大変危険な為、密封栓を外したりしないで下さい。</p> 
---	--	--	---	--

○ バッテリーの取り外し、取り付け

- ・ バッテリーを取り外すときは必ずアース側（一端子）から外し、（+端子）を外して下さい。
- ・ バッテリーの取り付けは、最初に（+端子）を取り付け、次に（-端子）を取り付けて下さい。
- ・ 絶対に逆接続しないよう、注意して取り付けして下さい。（取り付け後は端子接続部に保護テープをして下さい）

○ バッテリー使用上の注意

- ・ バッテリーは使用中に、その容量が徐々に低下し、寿命となります。補充充電しても性能が回復しないものは寿命です。
- 寿命は、次の要因によって短縮されます。
 - ・ 高温（エンジンからの熱などの環境温度）
 - ・ 使用頻度（使用が少なすぎても、多すぎても影響を受ける）
 - ・ 充電不足（発電機の故障などによる供給不足、使用頻度が少なく充電不足など）
 - ・ 苛酷な使用（寒冷地での多用、充電不足での使用など）
 - ・ 保守の不備（端子部分の緩みによる接触不良、ランプ類の消し忘れなどによって、バッテリーあがりした場合）
 - ・ 過剰な充電（レギュレータの故障、完了時点を過ぎてても充電を終了しないなどで充電し過ぎた場合）



※防振シートは付属していません。

※ バッテリーは縦置きで使用して下さい。
排気口が上面になる様に使用しなければ液漏れ等の原因になったり、バッテリー本来の能力を100%発揮する事が出来なく、短寿命になる場合があります。

※ バッテリーは放電したまま放置しますと、充電が出来なくなります。
放電し電圧が低下したままのバッテリー（充電出来ない状態のバッテリー）を車両側で充電すると、キーON電源で動作させている対象物が過電圧で壊れます。電圧が11V以下の場合は、補充充電が必要です。必ず12.4V前後ある状態でバッテリーを使用して下さい。

※ 通常のバッテリー充電器は使用出来ません ○ 弊社取扱い推奨充電器

容量が小さいバッテリーなので通常の液補充型バッテリー充電器を使用すると過電圧でバッテリーが破裂、液漏れ、故障します。必ず小型シールタイプバッテリー専用充電器を使用して下さい。

型番	商品番号
CTEKバッテリーチャージャー X S0.8JP	08-02-0032